

「ユネスコ協会 ESD パスポート」

参加ユネスコ協会募集について

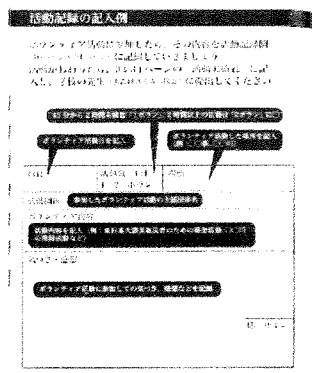
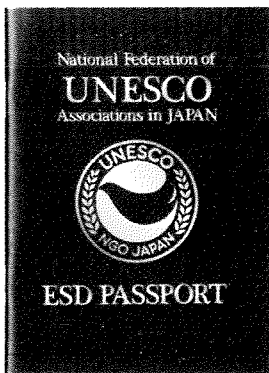
2014年11月に名古屋市、岡山市で開かれた「ESDに関するユネスコ世界会議」（主催：UNESCO、日本政府）では、「国連ESDの10年」を引き継いで、グローバル・アクション・プログラムの枠組みが示され、今後5年間、5つの優先分野（国、学校・教育機関、青少年、市民社会組織）が積極的にESDに取り組みことが確認されました。

日ユ協連の次年度の事業計画では、グローバル・アクション・プログラムも踏まえ、多くのユネスコ協会と共に「ESDパスポート」事業を推進していきたいと考えています。

また「ESDパスポート」事業は、グローバル・アクション・プログラムの優先分野に多くが合致しているもので、ユネスコ協会が学校や他団体と連携を築きながら、青少年にボランティア機会を提供し、「ユネスコ憲章の理念」の普及を図っていくための事業です。

なお、「ESDパスポート」事業は、2013年度に開始し、2014年は全国の25のユネスコ協会にご参加をいただきました。これまでは、対象校をユネスコスクールに限定してまいりましたが、次年度は、ユネスコスクール以外でも、世界寺子屋運動や各種コンテスト事業などの各種事業を通じて、日頃、ユネスコ協会と関係の深い学校も対象に加えます。

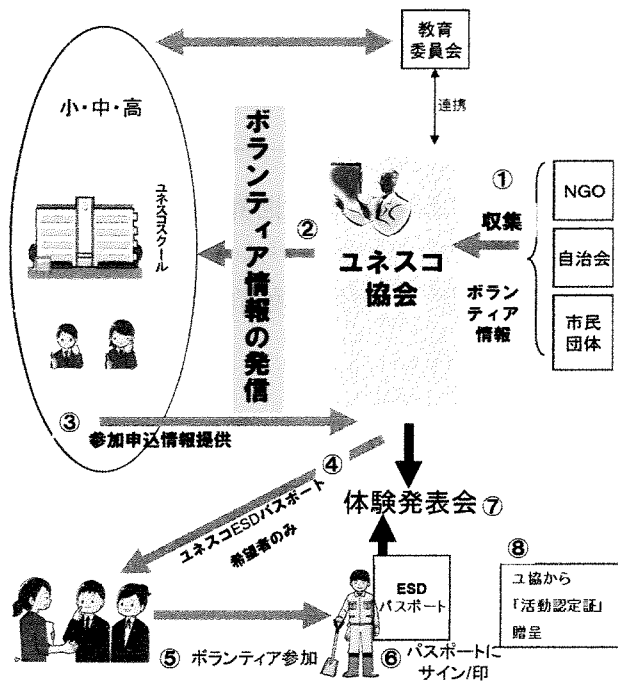
来年度、参加希望されているユネスコ協会宛に、「2015年度実施要項」をお送りいたします。まだ参加希望のご連絡をいただいていないユネスコ協会は、4月13日（月）までに、事務局あてにご一報ください。



ユネスコ協会と、ユネスコスクール等の学校と連携を強化しつつ、持続可能な社会づくりの担い手となる、子どもたちの心身の成長を図る新しい仕組みを、全国で作っていきましょう！

ユネスコ協会 ESD パスポート事業とは

- ① ユネスコ協会がユネスコスクール等の学校を通じて、児童・生徒に ESD パスポートを発行し、ボランティアに参加することを促進します。
- ② ボランティアの機会は、ユネスコ協会の活動およびユネスコ協会が中心となり、学校や地域の市民団体などによびかけ、協同で提供します。
- ③ ボランティアをするとパスポートに認定単位を証明、ボランティア単位が基準に達するとユネスコ協会が「活動認定証」を対象の子どもたちに発行します。
- ④ ユネスコ協会は、ESD パスポート体験発表会（年1回）を実施し、子どもたちに ESD パスポートを使ったボランティア体験による子どもたちの学びを共有する場を作ります。



主な年間スケジュール

- 学校との連絡調整(学校での導入方法や参加人数について打ち合わせ、活動報告会の開催等)
- 子どもたちにボランティア機会を提供
- 学校や地域の市民団体との連絡会合の開催
- 活動認定証の贈呈
- ESD パスポート活動報告会の開催
- 取り組み状況について、学校にヒアリング (中間アンケート・最終報告書)

※詳細は、「2015 年度実施要項」にてお知らせします。

対象となるボランティア活動の例

持続可能な社会という大きなテーマのもと、地域社会での解決に向けて、無償で自ら進んで行う活動が対象となります。

- 環境保護にかかわる活動
 - リサイクル活動 (空きビン・缶等)
 - 自然保全にかかる活動
 - 清掃美化活動
- 国際理解に関わる活動
 - 街頭募金
 - 書きそんじハガキ (回収と整理)
- 平和に関する活動
 - 平和の鐘をならそう (運営スタッフ)
- 福祉にかかわる活動 その他
 - 福祉施設等での日常生活の援助
- 文化・芸術にかかわる活動
 - 地域遺産のボランティアガイド
 - 社会教育施設等での文化祭等の企画・運営
 - チャリティーコンサートなどの企画・運営
- 行事の手伝い、高齢者の話し相手
 - 点訳、手話、朗読
- 子どもの健全育成にかかわる活動など
 - 年下の子ども達の世話や遊び相手
 - 野外活動やスポーツ等の指導

2015 年度参加申込

「ESDパスポート」実施要項 希望部数	
「ESDパスポートサンプル」 希望部数	
住所	
ユネスコ協会名	
ご担当者名	

※こちらから実施要項をお送りする際、そのまま宛名ラベルとして使わせていただきますので、ご了承ください。

送付先・問い合わせ先：日本ユネスコ協会連盟事務局 組織部 鴨志田、古澤
Tel03-5424-1121 FAX03-5424-1126 電子メール：nfuj_brx@unesco.or.jp